

看護職のメンタルヘルスとストレスマネジメント

—中堅看護師が生き生き看護できるために—

昨年 7 対 1 入院基本料が新設され、全国で人間的な「手厚い看護」体制が進められていますが、そこで勤務する看護師にとって「手厚い職場」となり得ているのでしょうか。入院患者の短期化・急性期化に伴う業務量の増加や医療事故防止などにより、医療現場における緊張度はますます高まり、看護職のメンタルヘルスにとっては厳しい状況になっています。看護職のメンタルヘルスでは、新人看護師の離職率上昇により新人のメンタルヘルスが注目されがちですが、成果主義導入やキャリア開発などにより、中堅看護師に課せられる役割と期待が年々増大する中、様々なストレスの中で疲弊している中堅看護師が多いのが現状です。

看護職のストレスマネジメントとしては、勤務体制の見直し、業務量の調整、サポート体制の整備など組織的な対策が必要ですが、個々の看護師が自分のストレスに対処できることも重要です。個人でのストレスマネジメントは、まず自分にとってどのようなストレス要因があるのか、どのようなストレス反応として表れているのかを知ることから始まります。

今回は、各自にあったストレスマネジメントを身に付けるための手がかりとして、看護職のメンタルヘルスとストレスマネジメントを学び、一人ひとりの看護師が職場で生き生き看護できる方法をともに考えてゆきましょう。多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

第 1 日：講義 1 看護職のリーダーシップとバーンアウト

日本赤十字広島看護大学 教授 稲岡文昭 先生

看護職の燃え尽き症候群およびヒューマンケアリングの専門研究者である稲岡先生に、看護職のリーダーシップとバーンアウトについてご講義いただきます。

第 2 日：講義 2 臨床における看護職のメンタルヘルス

日本赤十字広島看護大学 教授 Sharon A. Cumbie 先生

精神看護学およびヒューマンケアリングの専門研究者である Cumbie 先生に、臨床における看護職のメンタルヘルスについてご講義いただきます。(通訳がつきます)

講義 3 臨床における看護職の組織文化・風土とストレスマネジメント

日本赤十字広島看護大学 准教授 稲田久美子 先生

臨床の看護管理を組織文化・風土の観点から研究されている稲田先生に、臨床における看護職のストレスマネジメントについて、臨床現場の実情をふまえてご講義いただきます。

<研修スケジュール他>

1. 対象：中四国地区の日本赤十字関連施設、日本赤十字広島看護大学の臨地実習施設の看護職
2. 日時：平成 19 年 10 月 5 日(金) 13:00~16:30 6 日(土) 9:00~12:30
3. 場所：日本赤十字広島看護大学 講義室 交通アクセスは大学ホームページをご覧ください
4. 参加費：2,000 円 (当日会場でお支払いいただきます)
5. 日程：平成 19 年 10 月 5 日(金) 13:00~13:10 開会
13:10~16:30 講義 1 (稲岡文昭 先生)
16:40~17:40 大学・大学院案内および希望者に施設案内
平成 19 年 10 月 6 日(土) 9:00~10:30 講義 2 (Sharon A. Cumbie 先生)
10:45~12:15 講義 3 (稲田久美子 先生)
12:15~12:30 閉会
6. 申し込み方法：「受講申し込み用紙」に必要事項を記入の上、施設毎におとりまとめ頂まして、平成 19 年 8 月 31 日(金)までにご返信ください。

問い合わせ先 〒738-0052 広島県廿日市市阿品台東 1-2
日本赤十字広島看護大学
TEL&FAX 0829-20-2867 (川西美佐)
0829-20-2869 (村田由香)